

米国カリフォルニア州 カンキツグリーニング病検疫規制地域を拡大

[米国農務省動植物検疫局通知 DA-2025-33 2025年8月19日 \(25日送信\)](#)

件名: APHISはカリフォルニア州のカンキツグリーニング病 (HLB) 検疫規制地域を拡大

宛先: 州、部族及び準州の農業規制当局担当官

米国農務省動植物検疫局 (APHIS) は、カリフォルニア州食品農業局 (CDFA) と協力し、*Candidatus Liberibacter asiaticus* によって引き起こされるカンキツグリーニング病 (黄龍病; HLB) の同州内の検疫規制地域を拡大し、これは直ちに発効する。拡大される地域は、リバーサイド郡ペリス地域の33平方マイルである。

これらの措置は、CDFAが2025年8月14日に定めた州内の検疫と並行して実施される。APHISは、リバーサイド郡の住宅地から採取された植物組織サンプルからカンキツグリーニング病が検出されたため、この措置を講じるものである。この拡大の影響を受ける商業的柑橘類園地は、8.84エーカーである。

APHISは、カリフォルニア州の検疫規制地域からの規制対象物品の州間移動について、連邦規則集第7編第301.76条及び連邦命令に概説されている保護措置を適用している。これは、HLBが米国内の非感染地域に広がるのを防ぐために必要なものである。

カリフォルニア州の検疫規制地域の具体的な変更内容は、[APHISカンキツグリーニング病ウェブサイト](#)に掲載されている。APHISは、おつてこの変更を連邦官報に掲載する。(連絡先等省略)

(訳注: 1平方マイル=約2.59平方キロメートル、1エーカー=約0.405ヘクタール)

トルコ 早生品種のザクロの収穫が間もなく始まる

[FreshPlaza 2025年8月20日](#)

トルコの青果物輸出業者イシュレグループの輸出マネージャーであるメフメット・ムトゥル氏は、トルコのザクロの早生品種は間もなく収穫が始まり、主要品種もその後すぐに収穫される予定だとして、「アーリーワンダフル品種でザクロの出荷シーズンが始まる場所である。8月25日以降に開始の予定で、主要な顧客向けに1千トン以上の早生品種を梱包、出荷する予定である。その後、ヒジャーズ、ワンダフルなど定番の品種が続くこととなっている。2025-26年度の冬のシーズンには、合計で1万2千トン以上の生鮮ザクロを梱包、輸出する計画である」と語った。

ムトゥル氏によれば、天候に恵まれて豊作が約束されており、品質も順当である。同氏は、「今年は、良好な気象条件のおかげで、特にヒジャーズ品種で高品質かつ大量の収穫が期待される。自社の農地約150ヘクタールと契約果樹園から、合計1万5千トンのザクロを収穫する予定である」と言う。

ザクロの出荷シーズンに加えて、この輸出業者は現在も様々な夏の果実で多忙である。ムトゥル氏は「今は2025年の夏の真っ只中で、スイカ、核果類、収穫が始まったサルタナ品種のブドウ、さらに黒イチジクもある。特にスイカのシーズンは好調で、6月と7月には7千トン以上の種なしスイカを扱った」と締めくくった。

執筆者: ニック・ピーターズ

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)